

# 平成30年度予算見積調書

課室名：農業ビジネス支援課

担当名：販売対策担当

内線：4107

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B19	埼玉ブランド農産物推進事業			一般会計	農林水産業費	農業費	食品流通対策費	埼玉農産物ブランド化推進事業費	
事業期間	平成28年度～平成32年度	根拠法令	なし				宣言項目	09	儲かる農業の推進
							分野施策	040937	強みを生かした収益力ある農業の確立
1 事業概要 農業所得の向上と販路を確保した生産拡大を図るため、平成17年度からキャンペーン活動や各種広報媒体を活用したブランド化を行ってきた。これらの取組成果を踏まえ、効果的なプロモーション活動を展開し、埼玉ブランド農産物全体の認知度の向上及び消費拡大を推進する。  (1) ブランド化総合戦略推進事業 2,128千円 (2) 埼玉ブランド農産物推進事業 1,075千円 (3) トップブランド農産物推進事業 5,748千円 (4) 地域特産ブランド推進事業 1,045千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア ブランド化総合戦略推進事業 2,128千円 埼玉ブランド農産物の効果的なプロモーション活動を展開するため、埼玉農産物ブランド化戦略会議を運営し、認知度・評価向上のための戦略を構築する。また、県民のブランド農産物の認知度を高めるため、広く情報発信を行うポータルサイトを運営する。 イ 埼玉ブランド農産物推進事業 1,075千円 埼玉ブランド農産物の量販店等での取扱拡大のため、量販店バイヤー等の事業者向け産地見学会等を実施する。 ウ トップブランド農産物推進事業 5,748千円 量販店におけるトップブランド農産物を紹介する動画の上映や消費者向けプロモーションにより、消費者の認知度向上と購買の推進を図る。さらに、消費者がトップブランド農産物に接する機会を増やすため、県内外の飲食店でフェアを開催する。 エ 地域特産ブランド推進事業 1,045千円 観光地等において地域特産ブランドの強みである個性や希少性を生かした地域住民や観光客等に対するプロモーション等を行う。  (2) 事業計画 ア 埼玉農産物ブランド化戦略本部会議の開催(1回)、ポータルサイトの運営 イ 量販店バイヤーや飲食店等の事業者向け産地見学会の実施 ウ 量販店等でのPR動画上映や消費者向けプロモーション、飲食店でのフェアの開催 エ 観光地等での販促キャンペーンの実施  (3) 事業効果 ・埼玉農産物の認知度向上(認知度40%以上) 平成17年度：2品目→平成29年度：8品目 ・埼玉農産物ポータルサイトのアクセス数向上(月平均) 平成19年度：5,679件→平成29年度：15,026件  (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 JAグループさいたまをはじめ、各生産団体等と連携した各種キャンペーンの実施					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.8人=17,100千円									
財 源 内 訳									
予算額		国庫支出金	諸収入					一般財源	前年との対比
決定額	9,996		630					9,366	△4,031
前年額	14,027	4,411	630					8,986	